



作：宮本研 演出：小笠原響

反転工程

はんのうこうてい

伊東達広 矢野和朗 河内浩 塩山誠司 斉藤淳 脇田康弘 八柳豪 野々山貴之
田中孝宗 藤田一真 小泉将臣 増田あかね 田村理子 丸本琢郎

美術：松岡泉 照明：石島奈津子 音響：木内拓 衣裳：友好まり子 舞台監督：石井道隆
制作：劇団俳優座演劇制作部(霜垣真由美) 宣伝美術：若林伸重

1945年8月……終戦の夏、
動員学徒達の青春

北九州市民劇場 2023年5月例会

5月	18日(木)	19日(金)	20日(土)	21日(日)	22日(月)	23日(火)
昼		13:30	13:30	13:30	13:30	12:30
夜	18:30					

北九州芸術劇場 中劇場

北九州市民劇場とは

会員制の演劇鑑賞団体です。3人以上でサークルをつくってご入会ください。入会にあたっては一年(年間6例会)以上観つづけて下さい。

入会金 大人2,000円 大学生1,600円 小中高生1,300円
月会費 大人2,300円 大学生1,700円 小中高生1,000円

お問合せ・お申込みは TEL 582-7200

反 応 工 程

はんのうこうてい

作:宮本研 演出:小笠原響

劇団 俳優座 No.328

戦争の行く末さえ考えることを許されなかった動員学徒たち。
時代の流れの中で苦悩しながらも、自分を見失うまいと、必死に生きていく人々の物語。



作品解説◎『反応工程』は『ザ・パイロット』、『日本人民共和国』とともに、宮本研の“戦後三部作”と云われる作品です。宮本氏自身が大阪経済専門学校に在学中、太平洋戦争終盤の学徒動員により軍需工場に通った実体験をもとに書かれています。



あらすじ

広島、長崎に原爆が投下され敗戦濃厚となった1945年夏。九州のとある軍需工場
で爆薬製造の「反応工程」を担当する戦場に配属された高校生の田宮。工員た
ちは自らが働く工場の名前も作っている薬品名も口外を許されず、連夜の空襲の中で黙々と仕事をこな
していた。そんな中、徴兵を見送られていた学徒動員の影山に赤紙が届く。出征の宴のなか、影山は姿を
消す…。そして、広島、長崎に立て続けに投下される原爆。敗戦濃厚の空気の中で現場に漂う焦燥感。
一方、密かに日本が負けたときの準備を始める管理者たち。敗戦を感じながら工程をやらせることに憤
る田宮はハンマーを握って工場の奥へと歩みを進める。そうした中、田宮にもついに召集令状が届く…。

出演者



伊東達広



矢野和朗



河内浩



塩山誠司



斉藤淳



脇田康弘



八柳豪



野々山貴之



田中孝宗



藤田一真



小泉将臣



増田あかね



田村理子



丸本琢郎

美術:松岡泉 照明:石島奈津子
音響:木内拓 衣裳:友好まり子
舞台監督:石井道隆
制作:劇団俳優座演劇制作部
(霜垣真由美)
宣伝美術:若林伸重

九演連のみなさまへ

「人にはどうしても人に語りたくないものがあり、そんな時、人はたとえばモノを書いたりする。わたしの場合は、それが『反応工程』だった」宮本研(エッセイより)

戦後80年を前に、私たちはこの宮本氏の思いを皆さんと共有したいと思います。

劇団代表 岩崎加根子

